

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください。笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。

ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは...



たかしお 高塩
薬剤情報課 薬剤師 有希さん

マイスターに Q&A

- Q. この職業を目指したきっかけはなんですか？
A. 以前から医療に関わる仕事をしたいと思っていました。医師や看護師さんなど様々なスタッフと一緒に働くことができる病院薬剤師を目指しました。
- Q. 当院を選んだ理由は？
A. 生まれ育った栃木県で働きたい、身近にいる家族がやりがいをもってこの病院で働いている姿を見て私も当院で働きたいと思いました。
- Q. 心がけていることは何ですか？
A. 患者さんや医療スタッフから「ありがとう」をいただけるように、笑顔で帰っていただけるように、元気な笑顔をこころがけています。
- Q. 気分転換したい時はどうしていますか？
A. 登山や外に出て日光をいっぱい浴びています。
- Q. 尊敬する人はだれですか？
A. 家族です。



薬剤部・薬剤情報課とは

当院の薬剤部には48名(常勤46名)の薬剤師が勤務しており、「調剤課」「薬品管理課」「薬剤情報課」「病棟薬剤課」の4つの課に分かれています。その中で6名が薬剤情報課に所属しており、医薬品を有効かつ安全に使用するため、情報を収集・整理・管理し、医師、看護師、薬剤師などの医療スタッフへ情報提供を行い、業務を支援しています。また、2020年7月からは入院サポートセンター(PFM)に薬剤師が1名常駐し、業務に取り組んでいます。

PFMでの薬剤師の役割

PFMでは、入院予約時より安心して医療を受けられるよう、患者さん一人ひとりの状況を把握し、安心して入院が迎えらるる支援や不安なく退院できる支援を行っています。薬剤師の役割として、主に入院後の治療が円滑に行えるよう、患者さんが使用している薬を確認しています。看護師による入院に関する説明や情報把握を行っている際に、患者さんの常用薬についての情報を収集し、医療スタッフ向けに報告書を作成します。手術目的で入院される患者さんについては、術前に休薬が必要な抗凝固薬や抗血小板薬、糖尿病薬などを内服していないか確認します。中止が必要な薬がある場合には医師に情報提供し、必要に応じて患者さんに説明を行っています。

今後の目標

PFMにおける薬剤師常駐という新しい取り組みであり、先輩や上司の協力のもと日々業務を行っています。患者さんが安心して入院が迎えらるる支援の一環として、自分が少しでも貢献できるように努力していきます。

高塩さんのある日のスケジュール

8:30
調剤業務
9:30
PFM業務
12:00
昼食
13:00
PFM業務
17:30



Group photo

薬剤情報課の皆さんと
(下段中央が高塩さん)

